

上・下水道広域化・共同化計画の策定に係るパブリックコメントの実施結果について

令和5年3月9日
水環境保全課

上・下水道の広域化検討方針を定める「水道広域化推進プラン<水道>」及び「汚水処理広域化・共同化計画<下水道>」（以下「広域化・共同化計画」という。）を策定するに当たり、広く県民の意見を求めるためパブリックコメントを実施したので、その結果を報告する。

1 パブリックコメントの実施結果

- (1) 実施期間：令和4年12月8日（木）から令和5年1月20日（金）まで（44日間）
- (2) 意見件数：15件（水道6件（5名）、下水道9件（7名））
- (3) 主な意見と対応方針

区分	意見の内容	対応方針	区分
水道	我が町の水道料金が今後どのようになつてゆくのか不安である。	事業を取り巻く状況を踏まれば将来的な料金上昇は避けられない状況にある。そのため、安心安全な水の供給を担保しつつ経費削減に努めつつ、料金上昇幅を最小限にとどめるための手法の一つとして、広域化・共同化についても真摯に検討していくべきと考える。	盛込済
	施設統廃合という言葉が耳にするのが、大規模になれば事故や故障が発生した時の影響が大きくなるので慎重な検討が必要ではないか。	施設統廃合を検討するに当たっては、効率化の面だけではなく、災害時や緊急時の安全性の面も評価したうえで、最も良い形を事業主体である市町村自ら検討していく。	反映する
	人口減少等の状況を考えると広域化による業務効率化は避けて通れない。実施に当たっては現状と課題を明確にし、情報公開をしながら有意義な広域化検討にしてほしい。	本計画に記載した検討メニュー案については、今後、関係市町村等で詳細な検討を行う予定だが、その際にはメリット・デメリットを含めて幅広い検討を行ったうえで、広く住民に情報を共有しながら進めていく。	盛込済
	水道施設はたくさんあるが、本当にこんなに必要なのか。料金を上げる前に、まず徹底的に削減する姿勢を見せてもらいたい。	市町村域を跨ぐ統廃合案は地形的な制約が大きいため数少ないが、市町村内における統廃合については、人口減少を見据えながら各市町村で検討を進めているところ。今後も引き続きダウンサイジングや効率化に努めていく。	盛込済
下水道	湖山池の水質改善のため、周辺の集落排水施設についても公共下水道への接続を検討するべきではないか。	本計画は基本的に市町村を跨ぐ統廃合が対象だが、市町村内での統廃合については市町村で独自に検討を行うため、方向性が固まった時点で必要に応じて本計画にも追記していく。	盛込済
	処理施設の区分（公共、集落排水）や、統廃合済の施設情報等の記載に不正確な点がある。	ご指摘のあった箇所については、該当市町村に確認したところ誤りであったので、ご意見のとおり修正する。	反映する
	令和3年7月豪雨の際、天神川流域下水道周辺ではトイレの下水が流れにくくなり、役場の無線で使用を控えるような放送があったが、広域化を進めても大丈夫なのか？	分流式下水道の汚水管に雨水が何らかの理由により浸入することが一定以上の大雨時に確認されている。この雨天時浸入水については、令和4年度から県・市町で協働して原因究明・対策の検討に着手しているところであり、今後の広域化検討に当たっては、雨天時浸入水対策の効果を見つつ、統廃合の現実的な可能性・時期を見極めていく。	盛込済
	仮に同計画（案）を実行に移す場合には、施設の運転等を委託されている県内事業者・労働者の雇用維持等についても十分に配慮がなされるようお願いしたい。	広域化を進めるに当たっての民間事業者への影響、とりわけ合特法（下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法）に基づく配慮事業者への影響について十分な配慮が必要なため、今後の詳細検討に当たっては、市町村において影響把握及び対策についても検討していく。	盛込済

2 今後の予定

令和5年3月 広域化・共同化計画の策定・公表
4月以降 各市町村等による詳細検討の実施（事業化の可否を市町村が判断していく）